

事業別環境配慮指針【道路・街路】

基本目標	環境配慮事項	個別配慮事項	ページ	
【循環】 環境への負荷が少ない循環型社会広島	大気環境， 水環境の保全	路線の選定は，地域環境の保全，土地利用等との整合を図る。	6 8	
		交通網の整備により，交通量の分散化を図る。	6 9	
		交通流の円滑化を図る。	7 0	
		沿道環境に配慮した道路構造を検討する。	7 1	
		防音壁や環境施設帯の設置を検討する。	7 2	
		低騒音舗装，透水性舗装の採用を検討する。	7 4	
		建設機械，車両の稼働等に伴う周辺環境への影響の低減に努める。	7 5	
		工事中の汚水，濁水の発生の低減に努める。	7 8	
		地盤改良に当たっては，地下水汚染や土壌汚染の防止に配慮する。	7 9	
		工事の集中を避け平準化を図る。	8 0	
	廃棄物の発生抑制， リサイクルの推進	建設廃棄物等の発生抑制，分別の徹底，再資源化，適正処理に努める。	9 0	
		再生骨材，再生砕石等の再生資源の利用に努める。	9 2	
		建設発生土の発生抑制，有効利用，適正処理に努める。	9 3	
【地球】 地球環境の保全に貢献する広島	地球温暖化の防止	バイパスの整備，立体交差化等により交通渋滞の緩和を図る。	9 4	
		CO ₂ の吸収，ヒートアイランド現象の緩和等に資するため，施設の緑化に努める。	9 5	
		熱帯産木材の使用削減，間伐材の有効利用など森林資源の保護に努める。	9 8	
		工事車両や建設機械のアイドリングストップ等の励行に努める。	9 9	
	省資源， 省エネルギーの推進	自然エネルギー，省エネルギータイプの道路施設の導入に努める。	1 0 1	
【共生】 自然と人がふれあう潤いのある広島	自然環境の保全	貴重な動植物の生息・生育地の消失の回避に努める。	1 0 6	
		回避できない場合は，自然環境の改変の少ない線形や代替措置に努める。	1 0 7	
		生物生息空間のネットワークの確保を図る。	1 1 0	
		自然改変の少ない構造・工法の採用に努める。	1 1 3	
		のり面，環境施設帯等を活用した生物生息空間の創出に努める。	1 1 4	
		道路照明や前照灯による影響の低減を図る。	1 1 5	
	快適な生活空間の創造	緩勾配のり面への高木植栽を実施するなど，道路の緑化に努める。	1 2 1	
		擁壁は，地場産素材，天然素材の利用や植栽に努めるなど，周辺景観との調和を図る。	1 2 2	
		橋脚等の色彩は，周辺環境との調和を考慮するなど，良好な道路景観の創出に努める。	1 2 3	
		歴史的景観の保全， 文化遺産の保護	歴史的景観の保全に努める。	1 3 4
			文化遺産の保護に努める。	1 3 4